

シーボルトが長崎と世界に伝えたもの

山オランダ人!? シーボルト

出島オランダ商館付医師、フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト。名前を聞いたことがある人は多いはず。鎖国時代、オランダ人以外のヨーロッパ人は入国を禁止されていた日本に、ドイツ人であるシーボルトがどうして入国できたのか、ご存じですか？

実は、オランダ人に成りすまして入国していたシーボルト。彼は当時オランダ語があまり上手ではありませんでした。日本の阿蘭陀通詞にオランダ人かと不審がられた際に、「山オランダ人」訛りだと言っておまかしたそうです（オランダは平地の国ですから、山はないんですけどね）。

そんなシーボルトが出島に降り立ったのは1823年のこと。今年で200周年を迎えます。今回の特集では、シーボルトが日本で何をしたのか、シーボルトゆかりの地をご紹介します。

西洋医学を日本に教えた

その頃の日本では、出島にいる外国人は出島からほとんど出られませんでしたが、医師として活躍していたシーボルトは特別に長崎の町に出て病人を診察することを許されていました。鳴瀬にあった民家を買上げ、診療所を兼ねた「鳴瀬塾」を開きました。ここには高野長英や伊東玄朴などの著名な医師をはじめ、日本各地から人が集まり、シーボルトから西洋医学を学びました。

そこでシーボルトは最先端の西洋医学を塾生たちに教えたとされています。彼が教えた内容は、天然痘の予防接種ワクチンやベラドンナを使った白内障の手術、瀉血手術（体から血を出す手術）などさまざまでした。

日本の動植物などを研究した

シーボルト

シーボルトは医学を教えながら、日本の植物や動物について調べ、記録を残しました。許可を得て長崎の町に出ていきましたが、江戸参府以外では日本を巡ることができなかったシーボルト。鳴瀬塾の門弟たちから日本のさまざまな情報を入手し、標本作成や論文執筆などを行いました。

その際に活躍したのが絵師の川原慶賀（ウヰガ）です。彼は出島に自由に出入りできる「出島出入絵師」で、出島の商館員などの依頼で日本のいろいろなものを描きました。

現代のようにカラー写真などはないため、植物や動物の姿は絵で表すことになりました。川原慶賀は、植物学的にも役立つ図譜を数多く生み出しました。

他にも江戸時代の長崎の風景、文化、動物などをこまやかに描き、シーボルトの傑作三部「日本」「日本植物誌」「日本動物誌」に掲載されている絵の図版作成の際の下絵となっています。

これらの書物が当時閉ざされていた日本の自然・歴史・文化などを世界に伝えました。

来日200周年

記念イベント

10月から11月はシーボルト来日200周年記念イベントが盛りだくさん。暑さも和らいできたこの時期、ぜひ足を運んでみませんか？

10月14日（土）

来日200周年記念

シンポジウム

当時長崎にあった鳴瀬塾が、日本の近代化の発展に果たした役割をテーマに、国内の研究者が研究の報告や討論を行います。

【時間】午後2時～4時30分

（受付開始 午後1時30分）

【場所】出島メッセ長崎【定員】100人

【申込】市ホームページ、電話、FAX

【締切】10月11日（水）

【問い合わせ】シーボルト記念館



シーボルト宅跡の庭にたたずむシーボルトの胸像
その目には長崎の未来が見えているのかも

10月15日(日)
来日200周年記念

国際シンポジウム

シーボルト研究100年の歩みについて
国内外の研究者が研究の報告や討論を行います。

【時間】午後1時30分～5時

【場所】長崎歴史文化博物館「定員」100人

【申込】市ホームページ、電話、FAX

【締切】10月11日(水)

【問い合わせ】シーボルト記念館

10月6日(金)～11月30日(木)

来日200周年記念特別展

「鳴滝塾の実像」

シーボルトの医学教育の拠点「鳴滝塾」と
そこに集った門弟たちの資料を展示。

【時間】午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

【場所】シーボルト記念館

【入館料】小中学生50円、一般100円

【その他】月曜休館(祝は開館)

【問い合わせ】シーボルト記念館

シーボルト記念館

☎0823・0707

散歩に出掛けよう！



1 シーボルト記念館

オランダのライデン市にあるシーボルト旧宅をイメージして建てられました。シーボルトの生涯や功績などを紹介し、年に数回企画展なども開催しています。



【住所】 鳴滝 2-7-40

【開館時間】 午前9時～午後5時

【休館日】 月曜日（祝日は開館）、年末年始



2 シーボルト宅跡



シーボルトが鳴滝に設けた「鳴滝塾」と居宅の跡地（国指定史跡）で、記念館に隣接しています。建物は1874年の台風で大破し、1894年頃解体されました。当時のものとして井戸が2つ残っていて、跡地の中央には晩年のシーボルトの胸像があります。また、6月頃には、シーボルトが妻「お滝」の名前をつけたオタクサ（アジサイ）が一面に咲き誇ります。

10月13日(金)
出島の空に

再びオランダ国旗がはためく

江戸時代の出島には巨大な旗竿が建てられていました。シーボルト来日200周年を記念する今年、国旗掲揚台を設置し、最初の掲揚を行います。オランダの国旗がはためく様を見ませんか？

【時間】（式典）午後2時～午後2時40分

【場所】 出島

【費用】 無料（要入場料）

【その他】 式典中は入場制限がありますので、掲揚の瞬間は出島の対岸にある出島表門橋公園からご覧ください。

【問い合わせ】 出島復元整備室

(0829・1194)

10月21日(土)・11月18日(土)

出島少年伝習所

～シーボルトが見た未来～

長崎の歴史・文化、シーボルトについて学ぼう！観光丸では長崎港をクルーズしながら、謎解きゲームをします。

【対象】 小学生と保護者

【時間】 午後1時30分～午後5時

【場所】 出島・観光丸

【定員】 各30人

【費用】 小学生2千円、保護者3千円

【持ち物】 スマートフォン

【申し込み】 出島ホームページ

【締め切り】 開催日の3日前

【問い合わせ】 出島運営管理事務所

(0826・0330)



3 シーボルト通り

鳴滝～桜馬場～新大工を「シーボルト通り」と言います。シーボルトが長崎に居た頃、この通りを散歩していたかもしれません。新大工商店街の入り口にはシーボルトがいますよ！

出島

鎖国時代、唯一西洋に開かれていた長崎の出島。江戸時代の生活を模した部屋や発掘作業で出土した資料などが展示されています。その中にオランダ船が日本に運んできた植物の展示もあります。今ではなじみ深いシロツメクサも出島で行われた貿易の中で日本に入ってきました。

4



川原慶賀の唯一現存する屏風
「長崎湾の出島の風景」の複製も展示

10月13日(金)～12月10日(日)
出島企画展
「シーボルトと川原慶賀 PART 2
～シーボルトと慶賀が見た長崎～」

シーボルトと慶賀が残した当時の日本を記録した資料を展示します。彼らが見た長崎の景色や風俗に焦点をあて、シーボルトが滞在した前後の出島と長崎をひも解きます。

【時間】午前8時～午後9時
(入場は午後8時40分まで)

【場所】出島
【費用】無料(要入場料)
【その他】展示に合わせて解説やツアーも！
学芸員が展示を解説10月27日(金)・11月17日(金)・
12月8日(金)午後3時～4時
シーボルトツアー10月27日(金)・28日(土)・29日(日)・
11月17日(金)・18日(土)・19日(日)・12月8日(金)・
9日(土)・10日(日)午後1時30分～2時30分
【問い合わせ】出島復元整備室
(☎829・1194)